



～愛犬の生活・行動範囲を考えてプランニング～

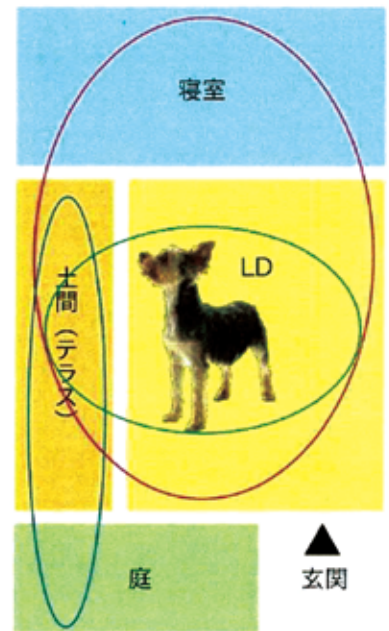


愛犬の生活範囲についての考え方

愛犬の日常的な居場所をどこにするのか、愛犬の立ち入りを制限する空間をどう考えるかなど、愛犬との暮らし方によって愛犬の生活範囲は変わってきます。大きく分けると3タイプになります。(右図参照)

- 家中自由にさせ、制限をしない
- 家族の集まるリビング(LD)に限定する
- 屋外中心で、室内は土間(テラス)までに制限する

プランニングする際には、愛犬とどのように暮らしていきたいか、愛犬の行動を制限したい場所はどこか、十分に考えることが大切です。



愛犬の行動範囲を制限したい場所



住空間には犬にとって危険な場所、衛生上の理由から入らせないほうが望ましい場所があります。ドアやゲートで入室を制限したり、段差などをあえて設けることで愛犬の行動をコントロールしたり、安全や衛生的な環境が保てる工夫をしましょう。

🐾 キッチン

火傷の危険があり、刃物など危険な調理器具や食べてはいけない食品があるので注意。

🐾 風呂場

シャンプーなどの洗剤類は犬が口にすると危険。湯をためた浴槽に落ちる事故もあります。

🐾 階段

転落の危険があります。また、階段の上り下りを繰り返すことで犬の足腰に負担が蓄積し、重大な疾患を招くこともあります。

🐾 バルコニー・屋上

転落の危険があるので、手すりの高さや形状、手すりの間隔などを工夫しましょう。

🐾 和室

和室に使われている建材はニオイが吸着しやすいものが多く、畳は傷つきやすく、ダニなどの微生物が繁殖しやすいので、極力入らせないようにしたいものです。

🐾 寝室

寝具はニオイを吸着しやすく、寝室は衛生上の観点からはできるだけ入らせないほうが望ましい場所。とはいえ、就寝時も愛犬と一緒にいたいと考える飼い主さんも多くいます。入室を制限するかどうかは飼い主さんの考え方次第です。

わんちゃん募集！！

毎月リファインおおがきのチラシにて可愛い家族わんちゃんの写真を載せていきたいと思っています。いただける方はぜひご連絡をお待ちしています。撮っていただいた写真のデータをいただくか、私達がお伺いして撮影させていただきます。

Panasonic リフォーム Club

リファインおおがき

株式会社イッシン

〒503-0917 大垣市神田町1丁目76

TEL:0120-36-1198

TEL:0584-82-3611
FAX:0584-82-3633

URL: <http://issin.reform-c.jp> E-mail: info@issink.jp

建設業許可/ 建築業許可 (建-24) 第12834号 一般建設士事務所登録/ 建築業許可登録第8828号



施工例紹介

はじめてのペット共生でも安心。 愛犬家住宅の基本を詰め込んだお家！



トイプードルと
楽しく暮らす家

コーディネーターの的確な
アドバイスで実現！



キッチンには、愛犬が食べられない食材、ヤケドしてしまうような熱い料理、危険な刃物やワレモノが多く存在します。キッチンへの進入を防ぐため、キッチンゲートを造作し、ゲートの必要がない時は、壁面に収納できます。そして日々のケアを少しでも軽減できるよう愛犬のお手入れができる洗面台に。

- 🐾 今回ご紹介する愛犬家住宅では、今までペットを飼ったことが無い方でも安心して愛犬家ライフを送ることができる
- 🐾 家の基本的なポイントをしっかり押さえたお宅になる
- 🐾 マイホームです。愛犬家住宅の基本は、「愛犬の安全対策」。
- 🐾 「人、犬の双方のストレス軽減対策」、「ケア負担の軽減」。
- 🐾 「臭い対策」といったものを考慮しながら設計します。
- 🐾 そして、家族の家事動線や生活動線があるように、愛犬にとっても生活動線は存在します。「家族団らんのひとときを一緒に過ごすための居場所」や「お互いのプライベートを確保するための居場所」といったストレスのない暮らし方、体への負担や健康維持のために必要な素材選びや間取りの工夫もしています。



😊 お散歩帰りのケアも重要なポイント！

室内で愛犬を飼うことが当たり前になった今では、散歩帰りの汚れをケアする手間が増えました。そこで、玄関の横にあるドッグランの入口付近に温水シャワーも使える足洗い場を設置しています。設置場所は、散歩帰りの時でもドッグランで遊んだあとでも、どちらのケースでも使いやすいように考えてあります。また、写真の奥に設置されている階段も、愛犬の足腰への負担を軽減できるようにしています。

😊 リビングにはドッグスペースを確保！ 🐾 🐾 🐾 🐾 🐾 🐾

愛犬を飼い始めを感じることに、「思っていた以上にペットグッズが増えていく」という点があります。今回のお宅では、愛犬のプライベートスペースを確保し、上部にペットグッズを収納できるスペースを確保しました。リビングの一角に設置することで、家族と離れすぎず、気配を感じながら1人の時間を過ごすことができるため、ストレス軽減にもなります。



😊 プライベートドッグランも工夫が大事！

ドッグランの工夫としては、メンテナンスを考え、人工芝を採用した点や、愛犬の身長に合わせたフェンスの高さ選びがポイントになります。また周囲の目を気にしてしまう愛犬のために目隠しタイプにするといった配慮もすると、よりよい暮らしを実現できるようになります。